

様式第9号（第5条関係）

令和 5 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市横島1388番地1
協議会名	横江・美の浜まちづくり協議会
協議会長名	会長 齋藤秀良

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 4 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 17 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

- 1 変更交付申請額 1,226,783 円
(交付金決算額)

〔内訳〕

(単位：円)

交付決定額 (I)	変更交付申請額 (II) (交付金決算額)	返還額 (I) - (II)
1,411,000	1,226,783	184,217

- 2 交付金が減額変更になった理由

新型コロナウイルス感染予防のため活動が思うように進められなかった。

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）活動実績明細書（様式第10号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）収支決算書（様式第11号）
- (3) 支払書類（レシート等）の原本
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第10号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）活動実績明細書

協議会名 横江・美の浜まちづくり協議会

実施期間		令和 4 年4月1日 から 令和 5 年3月31日 まで	
開催結果	会議の種類	開催結果	
	総会 <small>※または総会に準ずるもの</small>	開催時期： 5 月,	開催形式： 書面
開催結果	その他会議	開催回数： 17 回	会議の種類： 三役会4/11 4/25 5/7 5/12 7/19 8/5 9/27 10/7 10/31 11/11 1/28 役員会4/16 6/5 6/16 10/27 12/12 3/20
	活動名	活動実施による成果及び課題	
活動費の活動結果	①環境整備 (学童合同)	成果 ①地域住民と学童が触れ合う事と地域貢献の達成感を味わう事ができた。 ②顔見知りになる事で気軽に挨拶、声かけができるようになった。 ③地域住民有志の方々のご協力を戴き休園となった横江幼稚園の草取りや剪定作業をする事で良い環境を維持する事が出来た。	①公園や道路に落ちているゴミや空き缶などを拾う。②落ち葉を集めてゴミ袋に入れて一か所に集める。③地域住民有志の方々ご協力を戴き定期的に草取りや剪定を行う。
		課題 コロナ禍のためではあったが、より多くの方に安心安全に参加していただく。	
	②環境整備 (花植え)	成果 ①親子で参加くださる方もあり、年齢の差を超えて元氣をもらうことができた。 ②プランターの綺麗な花を見て心を和ませる。	①土や花や肥料の準備をする。 ②プランターに土を入れ花植えをする。 ③肥料をあげたり水やりを地域みんなで協力して行う。
		課題 コロナ禍のためではあったが、より多くの方に安心安全に参加していただく。	
	地域福祉	成果 ①敬老の日を祝い催し物はできなかったが、各地区で個別にお祝いをする事ができた。 ②65歳以上の一人暮らしの方、老々家庭の方々の見守りをする事ができた。	①いきいきサロン ②100歳体操 ③歳末やひな祭りに社会福祉協議会と協力して、年越し蕎麦やちらし寿司を配る。
		課題 ①より多くの高齢者の方々に寄り添った活動をするための工夫をする。 ②各サロンに気楽に参加して頂くための創意工夫をする。	
	安心安全 ふれあい	成果 3地区有志見守り隊の声掛けや挨拶運動により子供たちの安全性が高まり地域住民との繋がりができた。	3地区住民の有志の方々のご協力を頂き横江・美の浜まちづくり協議会見守り隊の制服、制帽を着用して学童の下校時の見守りをする。
		課題 見守り隊により多くの方に参加して頂けるための工夫する。	

※ 会議の開催結果及び活動費の開催結果の区分欄は、適宜変更して使用すること。

活動名	活動実施による成果及び課題	具体的な活動内容
バス利用促進	<p>成果</p> <p>①地域住民の方が気軽にバスを利用して頂けるように援助できた。 ②笠岡市財政面のマイナス負担を軽減する協力ができた。</p> <p>課題</p> <p>より多くの方にバスを利用して頂く工夫をする。</p>	<p>美の浜バスターミナルから笠岡駅間の回数券11枚綴り¥1,900の内¥300を横江・美の浜まちづくり協議会が負担して一人でも多くの方に利用促進を図る。</p>
広報活動	<p>成果</p> <p>横江・美の浜まちづくり協議会が、どんな組織でどんな活動をしているのか興味を持って頂けたようには思われる。</p> <p>課題</p> <p>地域全体を見渡すと、まだまだ知名度は低く地域の皆様に興味を持って頂けるよう努力をようする。</p>	<p>予算・活動報告書・決算報告書を含めた広報誌を年4回作成し、回覧した。希望者には、コピーを差し上げた。</p>
活動費の活動結果	<p>成果</p> <p>課題</p>	
行政間連携事業 空き家事業	<p>成果</p> <p>空き家対策について、出前講座を受けることにより空き家対策に興味を持って下さる方がふえた。</p> <p>課題</p> <p>まちづくり協議会の関係者だけでなく、一般住民の方にも興味を持って頂けるよう働きかけが必要である。</p>	<p>10月27日19時30分より笠岡市定住促進センターの職員さんによる「空き家対策とまちづくり協議会」と題して出前講座して戴く。現在の笠岡市における空き家の状態などを知ることができた。また、空き家対策に取り組むノウハウなども教えていただいた。</p>
行政間連携事業	<p>成果</p> <p>課題</p>	

※ 会議の開催結果及び活動費の開催結果の区分欄は、適宜変更して使用すること。

様式第11号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（運営交付金）収支決算書

協議会名 横江・美の浜まちづくり協議会

【収入の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金(①+②)	(I) 1,411,000	(II) 1,226,783	184,217	
①市交付金	1,361,000	1,226,783	134,217	
②市交付金加算枠	50,000	0	50,000	
広報活動	0	0	0	広報発行数：年 4 回 交付金の種類： 運営 交付金
まちづくり計画策定		0	0	策定期間：下記リストから選択してください 交付金の種類： 交付金
行政間連携事業	50,000	0	50,000	空き家事業
その他収入	0	50,000	△ 50,000	
自主財源（加算枠返還分）	0	50,000	△ 50,000	
			0	
			0	
			0	
計	1,411,000	1,276,783	134,217	

【支出の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
人件費	450,000	380,000	70,000	別紙「【運営費】出納簿」のとおり
賃借料		0	0	〃
光熱水費	80,000	54,843	25,157	〃
運営費	122,000	411,674	△ 289,674	
消耗品費	100,000	58,257	41,743	別紙「【運営費】出納簿」のとおり
食糧費	10,000	3,442	6,558	〃
印刷製本費		0	0	〃
修繕料		0	0	〃
通信運搬費		0	0	〃
手数料		0	0	〃
使用料及び賃借料	12,000	12,000	0	〃
備品購入費		337,975	△ 337,975	〃
		0	0	〃
活動費	759,000	380,266	378,734	
①環境整備（学童合同）	131,000	64,917	66,083	別紙「【活動費】積算資料①」のとおり
②環境整備（花植え）	107,000	92,184	14,816	別紙「【活動費】積算資料②」のとおり
地域福祉	175,000	12,462	162,538	別紙「【活動費】積算資料③」のとおり
安心安全 ふれあい	186,000	145,000	41,000	別紙「【活動費】積算資料④」のとおり
バス利用促進	60,000	45,000	15,000	別紙「【活動費】積算資料⑤」のとおり
広報活動	50,000	20,703	29,297	別紙「【活動費】積算資料⑥」のとおり
		0	0	別紙「【活動費】積算資料⑦」のとおり
行政間連携事業	50,000	0	50,000	
空き家事業	50,000	0	50,000	別紙「【活動費(行政間連携)】積算資料⑩」のとおり
		0	0	別紙「【活動費(行政間連携)】積算資料⑩」のとおり
加算枠返還金	0	50,000	△ 50,000	自主財源充当
			0	
計	1,411,000	1,276,783	134,217	決算額のうち市交付金分 (II) 1,226,783

市交付金の返還額

(I) - (II) 184,217 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分	運営交付金
活動名	運営費
費目	人件費
No.	1

予 算 額				
年	月	日	流用額	予算現額
4	4	1		450,000

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	5	3	16	会 長	役員手当金	80,000	80,000	370,000
2				副会長 1		50,000	130,000	320,000
3				副会長 2		50,000	180,000	270,000
4				会 計 1		70,000	250,000	200,000
5				会 計 2		70,000	320,000	130,000
6				書 記		20,000	340,000	110,000
7				理 事		20,000	360,000	90,000
8				理 事		20,000	380,000	70,000
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No. 1 小 計						380,000		

出 納 簿

交付金区分

運営交付金

活動名

運営費

費目

光熱水費

No.

1

予 算 額				
年	月	日	流用額	予算現額
4	4	1		80,000

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	4	4	7	中国電力(株)	電気料 (3月分)	1,336	1,336	78,664
2		5	10	〃	(4月分)	1,363	2,699	77,301
3		5	31	笠岡市水道局	上下水道代 (2・3月分)	6,160	8,859	71,141
4		6	9	中国電力(株)	電気料 (5月分)	1,340	10,199	69,801
5		7	11	〃	(6月分)	1,531	11,730	68,270
6		8	1	笠岡市水道局	上下水道代 (4・5月分)	6,160	17,890	62,110
7		8	9	中国電力(株)	電気料 (7月分)	1,833	19,723	60,277
8		9	8	〃	(8月分)	1,916	21,639	58,361
9		9	30	笠岡市水道局	上下水道代 (6・7月分)	6,160	27,799	52,201
10		10	11	中国電力(株)	電気料 (9月分)	1,997	29,796	50,204
11		11	9	〃	(10月分)	1,421	31,217	48,783
12		11	30	笠岡市水道局	上下水道代 (8・9月分)	6,160	37,377	42,623
13		12	8	中国電力(株)	電気料 (11月分)	1,203	38,580	41,420
14	5	1	10	〃	(12月分)	1,368	39,948	40,052
15		1	31	笠岡市水道局	上下水道代 (10・11月分)	6,160	46,108	33,892
16		2	9	中国電力(株)	電気料 (1月分)	1,449	47,557	32,443
17		3	13	〃	(2月分)	1,126	48,683	31,317
18		3	31	笠岡市水道局	上下水道代 (12・1月分)	6,160	54,843	25,157
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						54,843		

出 納 簿

交付金区分	運営交付金		
活動名	運営費		
費目	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">需用費</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">消耗品費</td> </tr> </table>	需用費	消耗品費
需用費	消耗品費		
No.	1		

予 算 額				
年	月	日	流用額	予算現額
4	4	1		100,000

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	5	1	30	(有)吉見紙文具店	金銭出納帳	485	485	99,515
2		2	21	〃	クリアブック・フラットファイル	9,944	10,429	89,571
3		2	21	(株)ユーホー笠岡店	コピー用紙	1,848	12,277	87,723
4		2	21	(株)エディオン	プリンターインク	37,620	49,897	50,103
5		3	16	(株)エディオン	ネームランドテープ	8,360	58,257	41,743
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						58,257		

出 納 簿

交付金区分	運営交付金		
活動名	運営費		
費目	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">需用費</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">食糧費</td> </tr> </table>	需用費	食糧費
需用費	食糧費		
No.	1		

予 算 額				
年	月	日	流用額	予算現額
4	4	1		10,000

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	4	7	17	天満屋ハピーズ笠岡美の浜店	会議用お茶	1,706	1,706	8,294
2		10	26	ザ・ビッグ笠岡店		1,736	3,442	6,558
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						3,442		

出 納 簿

交付金区分	運営交付金
活動名	運営費
費目	使用料及び賃借料
No.	1

予 算 額				
年	月	日	流用額	予算現額
4	4	1		12,000

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	5	3	16	横島振興会	横島会館使用料	12,000	12,000	0
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						12,000		

出 納 簿

交付金区分	運営交付金
活動名	運営費
費目	備品購入費
No.	1

予 算 額				
年	月	日	流用額	予算現額
4	4	1		0

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1	4	2	14	(有)吉見紙文具店	会議テーブル・折りたたみ椅子	337,975	337,975	-337,975
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						337,975		

活動名 ①環境整備 (学童合同)

事業費計 64,917 円

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
計	0	

需用費

内 容	金 額	積 算
記入例) 飲料費	8,000	作業用お茶代100円×20人×4回
飲料費	13,530	幼・中・高合同清掃活動 生徒120人・先生10人・地域住民10人
燃料費	20,011	混合油代
替え刃	13,376	草刈チップソー替え刃
横江幼稚園の草刈り、除草管理お茶代	18,000	3,000円×6人
計	64,917	

自己評価シート

（令和 4 年度）

No. 1

協議会名	横江・美の浜まちづくり協議会
活動名	①環境整備（学童合同）

活動目的	①年1回の学童と3地区住民の一斉清掃活動(11月)により学童と地域住民のふれあいの場を作る。 ②学童にほうきやスコップの使い方などを教えながら住民との交流を図る。
活動内容	①公園や道路に落ちている缶拾いなどを実施する。 ②秋なので公園などにたくさん落ちている落ち葉を集めてゴミ袋に入れて1か所に集める。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
①地域住民と学童が触れ合う事と地域貢献の達成感を味わう事ができた。 ②顔見知りになる事で気軽に挨拶、声かけができるようになった。 ③地域住民有志の方々のご協力を戴き休園となった横江幼稚園の草取りや剪定作業をする事で良い環境を維持する事が出来た。	コロナ禍のためではあったが、より多くの方に安心安全に参加していただく。

今後の活動の方向性・改善策

学生と地域住民の心の一体化が、できるよう頑張る。

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 2

協議会名	横江・美の浜まちづくり協議会
活動名	②環境整備 (花植え)

活動目的	①春秋年2回の3地区花植え活動により地域住民のふれあいの場を作る。
活動内容	①土や花や肥料の準備をする。②プランターにみんなで土を入れ花植えをする。③肥料をあげたり水やりを地域みんなで協力して行う。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
①親子で参加くださる方もあり、年齢の差を超えて元気をもたらすことができた。 ②プランターの綺麗な花を見て心を和ませる。	コロナ禍のためではあったが、より多くの方に安心安全参加していただく。
今後の活動の方向性・改善策	
とても良い環境である。今後も継続することに意義がある。	

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 3

協議会名	横江・美の浜まちづくり協議会
活動名	地域福祉

活動目的	地域の高齢者の方々に感謝の気持ちを伝え老若男女が打ち解けあうこと。
活動内容	①いきいきサロンの実施 ②100歳体操 ③歳末やひな祭りに社協と協力しあってお寿司を配ったり、年越しそばを配ったりする。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
①敬老の日を祝い催し物はできなかったが、各地区で個別にお祝いをすることができた。 ②65歳以上の一人暮らしの方、老々家庭の方々の見守りを行うことができた。	①より多くの高齢者の方々に寄り添った活動をするための工夫をする。 ②各サロンに気楽に参加して頂くための創意工夫をする。

今後の活動の方向性・改善策

とても良く出来ている。今後も継続することに意義がある。

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 4

協議会名	横江・美の浜まちづくり協議会
活動名	安心安全 ふれあい

活動目的	①3地区有志の方々の見守りの協力を戴き地域の子供たち(学童)の安心安全を守る。 ②子供たちをはじめ地域の事件事故の抑止力を図る。
活動内容	①3地区の地域住民の有志の方々のご協力を戴き学童の下校時の見守りを実施する。 ②中央小学校から出されている危険個所に横江・美の浜まちづくり協議会見守り隊の制服・制帽を着用して実施する。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	2
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
3地区有志見守り隊の声掛けや挨拶運動により子供たちの安全性が高まり地域住民との繋がりができた。	見守り隊により多くの方に参加して頂けるための工夫する。
今後の活動の方向性・改善策	
地域住民の協力を戴くことに力を入れないと継続が難しい。	

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 5

協議会名	横江・美の浜まちづくり協議会
活動名	バス利用促進

活動目的	①市民の足を守る為、美の浜にバスターミナルを作る事に美の浜地区住民の協力を得て出来た。一人でも多くの方にバスを利用して頂きたい。 ②笠岡市財政にも協力したい。
活動内容	美の浜バスターミナルから笠岡駅間の回数券11枚綴り1900円を300円横江・美の浜まちづくり協議会が負担をして一人でも多くの方々に利用促進を図る。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	2
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	2
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
①地域住民の方が気軽にバスを利用して頂けるように援助できた。 岡市財政面のマイナス負担を軽減する協力できた。 ②笠	より多くの方にバスを利用して頂く工夫をする。

今後の活動の方向性・改善策

現状維持でいいと思う。幅広く利用できるようにしないとバス利用促進につながらない。各町内をきめこまやく小型マイクロバスなど検討を要する。

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 6

協議会名	横江・美の浜まちづくり協議会
活動名	広報活動

活動目的	①横江・美の浜まちづくり協議会として、市政70周年を節に組織変更を大きく変えて行くため1から2年間の準備期間を要するかも知れないが、一極集中型を分散し住民の皆さんが気軽に参加できるようにしていく。 ②横江・美の浜まちづくり協議会が、何をしているかなどの活動報告を回覧、配布などをして住民に透明性と浸透を図る。
活動内容	①発行回数:4回 ②決算報告:1回 ③活動報告:3回 ④配布方法:回覧など、必要に応じて可能であれば世帯に配布。 ⑤時期は、コロナ禍であり明記できない。 (活動次第)

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	2
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	2
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	2
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
横江・美の浜まちづくり協議会が、どんな組織でどんな活動をしているのか興味を持って頂けたようには思われる。	地域全体を見渡すと、まだまだ知名度は低く地域の皆様に興味を持って頂けるよう努力をようする。

今後の活動の方向性・改善策

会長・書記に負担が大きく今後広報部を設置しないと駄目である。

自己評価シート（行政間連携事業）

（令和 4 年度）

No. 7

協議会名	横江・美の浜まちづくり協議会
活動名	空き家事業

活動目的	3地区に老朽化した空き家があり、屋根などのトタンや瓦が落ちそうであるなどの安全面に問題があるため持ち主を探して対策などの協議をしていくので複数年かけての時間を要する。
活動内容	各地域の住民、行政協力委員が協力して不安全空き家、再生可能な空き家を調査すると共に持ち主を探して協議する。よって複数年事業計画となる。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	2
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	2
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	2
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	2
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 空き家対策について、出前講座を受けることにより空き家対策に興味を持って下さる方がふえた。	現状と課題 まちづくり協議会の関係者だけでなく、一般住民の方にも興味を持って頂けるよう働きかけが必要である。
--	--

今後の活動の方向性・改善策 始まりであり都市計画課、定住促進などの、出前講座を受けたが実施活動までに乗り越えられない壁がありそこを早く実施できるようにして戴かないと地域住民のみではどうにもならない。
